

科目番号	25-6933	科目群	演習				
授業名	演習（民法）						
副題	情報と民法						
担当教員	米村滋人						
種別	選択	単位数	2	年次	2・3	学期	S
他専攻等との合併		法学部・総合法政専攻と合併					
<p>演習の目的・ねらい・進め方</p> <p>近時、さまざまな分野で情報に関連する法的問題が急速に進展・多様化してきている。情報は「無体物」にあたり所有権の客体とならないことから、民法の中に直接的に情報を規律する規定は存在しないように見える。しかし、現実が発生するさまざまな問題に対処するために、特別法や判例を通じて情報に関する法的規律が相当程度具体化している。本科目では、情報に関連するさまざまな個別問題を検討することを通じて、情報の私法的法律関係の内容や解釈問題に関する理解を深めることを目的とする。</p>							
<p>授業の構成</p> <p>情報に関する私法的法律関係には、法的規律が明確な問題領域とそれが不明確な問題領域がある。本演習では、そのいずれをも対象とし、現在の情報の実務的な取り扱いを十分に踏まえつつ法律関係の検討を行う予定である。</p> <p>具体的に扱うテーマの例としては、以下のようなものがある。（しかし、具体的に扱うテーマは参加者と相談の上決めたいと考える。以下はあくまで一例である。）</p> <p>I 情報一般の法律関係  情報と所有権法理、情報利用の私法的権利、情報の公法的規制と私法関係、プロバイダの責任、プラットフォームの責任、AI機器利用の法的責任、プロファイリングの問題</p> <p>II 人格権領域  プライバシー権、氏名・肖像に関する権利、個人情報に関する権利、医療情報・ゲノム情報の諸問題</p> <p>III 財産権領域  知的財産権、パブリシティ権、電子マネー、電子決済、暗号資産（仮想通貨）、情報銀行</p>							
教材等	特に教科書は指定しない。参考文献等については開講時に紹介する。						
成績評価の方法	筆記試験を 行わない						
	平常点を 考慮する						
	レポートを 課す						
	成績を 合格・不合格 で評価する						
開講年度（予定）	当年度限り						
特記事項	本演習は、毎回30分から1時間程度延長する可能性がある。						